

豊かなつながりをめざして！
小郡市の「人権のまちづくり」①
— 小郡中学校区の取り組み —

小郡市全体に広がった

「人権のまちづくり」

小郡市では、部落差別をはじめとするあらゆる差別の解消をめざして、「人権のまちづくり」の取り組みを進めてきました。

そして、宝城中校区が1999年に「人権のまちづくり」推進連絡会を立ち上げ、その後各中学校区で取り組みが始まりました。昨年、立石中学校区の推進組織が設立し、市内5中学校区すべてに推進連絡会ができました。

今回は、小郡中学校区の取り組みをご紹介します。

小郡中校区の思い
活動の日常化

様々な組織とネットワークを広げながら活動している小郡中校区が目指してきたことは、活動を日常化することです。日常的に人と人とのつながりを深め、人権の視点を持って関係づくりができることが、「人権のまちづくり」を進めることになると考えています。

放課後の居場所

「ピッピクラブ、スキップクラブ」

日常的な活動の基本になったのは、10年目を迎える放課後の居場所づくりの取

り組みです。子どもたちのみの居場所ではなく、大人と子ども、大人と大人のつながりを深めていくということが、つながりの薄れていくばかりの現代社会の中でつながりを取り戻す一歩になりつつあります。

この居場所、現在校区内7か所の公民館や教育集会所で開設。子どもたちが地域の大人や高齢者ともっと触れ合えるように、今年の正月には、年賀状を送り、新年会へ招待しました。

子どもたちの安心・安全

「まなざしネットワーク」

活動の中から、様々な人権課題が見えるその課題解決に向けて新たな活動が広がりました。この活動もその一つです。



登下校に支援の必要がある児童生徒の存在に気付く、登下校支援ボランティアの活動を始めました。

豊かな関係を子どもたちに保障しようということで、活動への参加は、自主的主体的なものにしています。

ボランティア活動には多くの参加があります。ちよこつと（できる人ができるときにできるだけ）ボランティア・略して「ちよこボ」と名付け、活動しています。

学力保障の取り組みとしてのBBクラブ（学び場支援事業）にもこのボランティアの方の協力があります。算数の授業などに支援者として参加してもらって学習支援ボランティアの取り組みも盛んになってきました。毎月の読み聞かせ活動もその一つで、10年間続いています。

年間の行事

活動的なイベントや取り組みを企画し、地域の人と人が一堂に会する場を作っています。毎年工夫を凝らし、人権の視点を入れて、やってよかった・参加してよかったと思えるものを企画しています。部落問題をはじめとする様々な人権課題が日常的に取り上げられていくことが願いです。

今年度は、通学合宿やお泊まり会、春にはリサイクル「ガブリ祭」、秋には「月夜のお話会」、人権コンサート・人権講演会・教育条件整備の署名活動、冬には「くすのきミュージックフェスタ」、人権フォーラムなどを実施。



2月7日(日)にミュージックフェスタを開催しました。三輪のまちづくりの中で活動されている三輪大鼓の演奏や被差別部落の歴史を描いた絵本「いのちの花」の読み聞かせ。そして、パンブーオーケストラの演奏などがありました。身近な「竹」の手作り楽器での演奏です。

また、3月27日(土)の午後2時から人権教育啓発センターで、ミュージックフェスタ学習会を開催します。

歴史を紐解く中で、人間がどのような課題を抱えながら今日を迎えているのか、大人がしっかり視野を広げることが大事です。

皆さんご参加ください。

問い合わせ先 人権・同和教育課

☎72・21111内線532